

トヨタ ヤリス 環境仕様		6AA-MXPH10		6AA-MXPH15		5BA-MXPA10		5BA-KSP210		5BA-MXPA15								
車両型式																		
エンジン	総排気量 L	1.490		1.490		1.490		0.996		1.490								
駆動装置	駆動方式	前輪駆動方式		電気式4輪駆動方式		前輪駆動方式		前輪駆動方式		4輪駆動方式								
	変速機	電気式無段変速機		CVT		6MT		CVT		CVT								
燃料消費率 	燃料消費率*1 (国土交通省審査値)	km/L	36.0	35.8	35.4	32.6	30.2	29.8	29.0	21.6	21.4	21.2	19.6	20.2	20.0	19.2	19.0	18.8
	CO ₂ 排出量	g/km	64	65	66	71	77	78	80	107	108	110	118	115	116	121	122	123
排出ガス	認定レベルまたは適合規制 (国土交通省)		2030年度燃費基準優良車*2*3						—									
	認定レベル値または適合規制値 CO/NMHC/NOx	g/km	平成30年基準排出ガス75%低減レベル*3						平成30年基準排出ガス50%低減レベル*3									
車外騒音	認定レベル値または適合規制値	g/km	1.15/0.025/0.013						1.15/0.05/0.025									
	加速/定常/近接*4	dB	73(規制値)/-/73		73(規制値)/-/68		73(規制値)/-/78		73(規制値)/-/77		73(規制値)/-/76		73(規制値)/-/79					
冷媒の種類(GWP値*5)/使用量		g	HFO-1234yf(1*6)/450						HFO-1234yf(1*6)/350									
	鉛		自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*7)						—									
環境負荷物質削減	水銀		自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*8)						—									
	カドミウム		自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)						—									
	六価クロム		自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)						—									
車室内VOC*9		自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値*10以下)						—										
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品		バンパーカバー、インストルメントパネル、その他内装材						—									
	植物素材の活用 ケナフ		パッケージトレイドリム						—									
	樹脂、ゴム部品への材料表示		あり						—									
	リサイクル材の使用		ダッシュサイレンサー						—									



*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 *2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準 *3. WLTCモード走行
*4. 平成28年騒音規制 *5. GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数) *6. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。
*7. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 *8. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイランプ室内蛍光灯)を除く。 *9. VOC: Volatile Organic Compounds
*10. 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/challenge2050/>

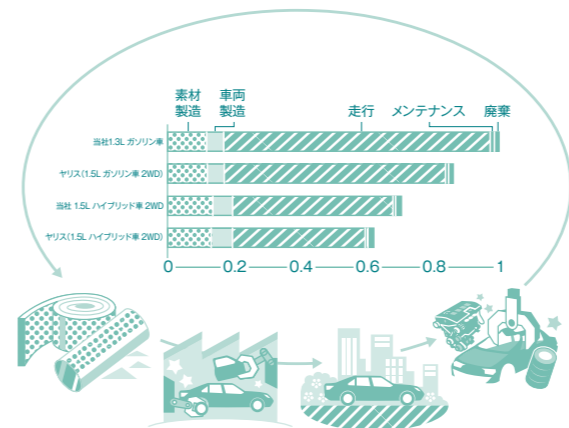
「人とクルマと自然が共生する社会」を目指して ～トヨタ環境チャレンジ2050～

トヨタは、温室効果ガスに起因する異常気象、生物多様性の喪失、水不足など、深刻化する地球環境の諸問題に対し、これまでも幅広い取り組みを推進してきました。今後もクルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、地球・社会にプラスとなる取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献するための6つのチャレンジ(ゼロへのチャレンジ  と、プラスへのチャレンジ )を実施していきます。


CO₂ “0” へのチャレンジ ～環境負荷をゼロに近づけるためのトヨタの取り組み～

クルマの一生のCO₂削減をデザインしています

ライフサイクルCO₂ゼロチャレンジ



トヨタでは燃費を良くするだけでなく、設計段階から、製造・廃棄・リサイクルにいたるクルマの一生を通して、CO₂排出量を削減するための取り組みを行っています。



LCA Method Certified

トヨタでは、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階を、クルマが環境に与える要因を定量的に総合評価する手法(LCA「ライフサイクルアセスメント」: Life Cycle Assessment)で評価し、自動車の生涯走行距離10万km(10年)で計算した場合の結果を指数で示しています。

トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

燃費の良いクルマを選ぶと、CO₂の削減に協力できます

新車CO₂ゼロチャレンジ



エコカーだけでなく、エコ工場にも力を入れています

工場CO₂ゼロチャレンジ



ヤリスをつくる工場では冬場に深い雪に覆われる環境の下、雪を夏まで貯蔵し、その雪解け水を工場や敷地内の建物の冷房に有効利用しています。生産段階においても、エネルギーを必要としない装置の活用や徹底した省エネ活動、設備の運転条件の見直しなど、様々な方向からCO₂削減に取り組み、環境に負荷をかけないクルマづくりに努めています。

地球環境へ プラス “+”のチャレンジ ～より良い環境をつくるための トヨタの取り組み～



人と自然が共生する 未来づくりへのチャレンジ

ヤリスをつくる工場では、近隣住民の方々や行政の方たちとコミュニケーションを図る場や植樹会を毎年設けるなど、地域や自然と調和する工場づくりを目指しています。従業員とその家族、地域の方々が参加した植樹会によって工場内に植えられた木は、累計3万1千本*に達しました。様々な種類の樹木に囲まれた自然豊かな工場を目指して、森の再生活動に取り組んでいます。

*2021年3月現在